

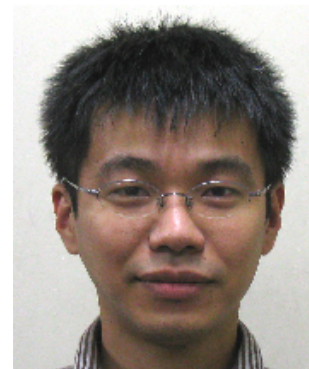
# 日本生物物理学会 北海道支部講演会のお知らせ

日時: 2009年12月21日(月) 16:00～

場所: 理学部2号館5階2-5-07号室

講師: 須藤 雄気 博士

(名古屋大学大学院理学研究科・准教授, JST/さきがけ・研究員(兼任))



主題 北大発-アメリカ経由-名古屋行き: 細菌の光応答に関する生  
物物理学的研究

大学院生のためのアカデミックキャリア形成～生物物理若手研究者体験記～

## 要旨

私は、1996年に札幌市立旭丘高校を卒業し北海道大学薬学部に入學したが、知識を教える講義になじめず、2000年に劣等生として卒業することとなった。大学院では膜タンパク質の物理化学研究を行う加茂直樹教授の研究室(牧場)に属し、理学的研究に目覚めた(講義では一向に目覚めなかったが...)。博士課程では、牧場から脱走し、他大学・他研究室(奈良先端大、名工大、京大、阪大など)を飛び回った。その後アメリカでのポスドクを経て、現在は名古屋大学に所属している。細菌型ロドプシンの生物物理学的研究を中心に行っているが、上記過程で、何を感じ研究を行ってきたかを紹介し、僭越ながら現在北大に所属されている方々を何かしらの形でエンカレッジ出来たらと思っている。

主な筆頭著者・責任著者論文

**Proc. Nat. Acad. Sci. USA** (2006) **J. Am. Chem. Soc.** (2005) **J. Biol. Chem.** (2006, 2007, 2008) **J. Mol. Biol.** (2006, 2009) **Biochemistry** (2003, 2004, 2005, 2008, 2009a, 2009b) **Biophys. J.** (2001, 2002, 2008)

連絡先:

北海道大学 大学院先端生命科学研究院

出村 誠

(demura@sci.hokudai.ac.jp, 内線 2771)